

山形市野草園おすすめお散歩コース 20250921 現在  
 9月13日から9月23日はアサギマダラ祭りです

軽くお楽しみいただけるおすすめ散策のコースを設定しています。

- 秋の七草（アサギマダラ）コース (所要時間40分)
- ゆったり一周コース (所要時間70分)



橋老朽化のため通行止め 回路を作りました



「吉林の庭」の  
 フォトスポット  
 スイレンとコイ



サルスベリ

「スワンヒルの庭」  
 キバナコスモス、センニチコウ  
 ガウラ、コスモス など



現在地が  
 わかる↓

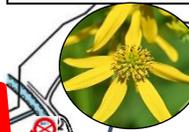


オミナエシ



フジバカマ  
 アサギマダラが見られるかも…

ハネミギク



エゾリンドウ



アキノリソウ



ツリフネソウ



キツリフネ



サラシナショウマ



ウゼントリカブト



カンボクの実



タムラソウ

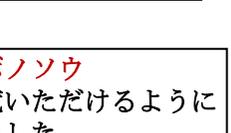


カリガネソウ



ゴマナ

ダキバヒレアザミ



アケボノソウ  
 近くでご覧いただけるように  
 道を作りました。

キキョウ



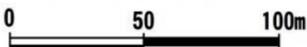
ナンバアザミ



ワレモコウ



オゼコウホネ



□ スマホ・パソコンなどをお使いの方へ

野草園を楽しんでいただくために、インターネット利用した、3つのサービス行っています。ぜひ、下記のQRコードを読み込み、野草園内の散策をお楽しみください。  
(注：スマホを見ながらの歩行は危険ですのでおやめください。)

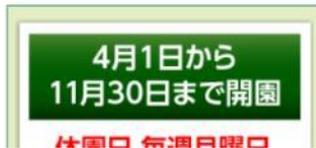
① 野草園のホームページにアクセスして、最新情報をご覧ください。  
(最新の開花情報、これからのイベント情報などが見られます。)

② 野草園マップにアクセスして現在地を確認できます。  
(園内で道に迷ったとき、おすすめ散歩コースを確認するときなどに  
お使いください。)

③ 野草園植物検索システムにアクセスして、植物についての知識を増やしましょう。  
(この植物、もっと詳しく知りたい。花の色や、実の形はと思ったとき  
お使いください。 また、植物ラベルにQRコードが付いている  
場合は直接読み込むこともできます。)



④ インスタグラムも充実しています。最新の開花情報、これからのイベント情報などが見られます。



ここをクリックすると、植物検索システムの中に入れます。

昨年から、学名入り看板を作成しています。植物名の緑色の背景は「草本」、青色は「木本」、赤色は「有毒植物」になっています。「サクラ属&ウワミズザクラ属」はピンクの背景になっています。黒プレートは「木本」、白プレートは「草本」です。

**ミスバショウ (サトイモ科)**  
学名 *Lysichiton camtschatcensis* (L. Schott) (Araceae)

シベリア東部、サハリン、千島列島、カムチャツカ半島と日本の北海道と中部地方以北の本州の日本海側に分布する。南限の兵庫県淡路市の加茂坂峠にも隔離分布している。約1方輪を生ずる野郎のランガム。パシオウとは葉の長さ1~1.5m、幅50cm程の大きな葉をのける植物で、パシオウの仲間である。ミスバショウの葉も花後は約80cmにもなるのでパシオウと名が近い。花弁に見える白い部分は、仏炎苞(ぶつせんぼう)と呼ばれる葉が変化したもの。和名「水芭蕉(ミスバショウ)」は、パシオウの葉に似て、水辺に咲くため。

開花前 花期 4月~5月上旬 花後の葉 冬芽

**ザゼンソウ (サトイモ科)**  
学名 *Symlocarpus renifolius* Schott ex Tzeveley (Araceae)

北アメリカ東部および北東アジア(北東シベリア、中国東部および日本)に分布する。徳島県高島町(旧・高島郡津島町)が日本の南限。中部以北の山地や林下に生える多年草で野郎を生ず。葉の形は花のよほど広い。葉の裏面に多数の腺毛がある。花は約100個の小花(筒状花)がある。自ら発熱し、25℃まで上昇し、香気発散の働きをしながら、その熱の多い「暖房効果」を上げている。熱が花中の蜜を出すために集まる。和名「ザゼンソウ」は、花の葉が花弁のように見えるため。また、花を凍らせ、大瓶の葉に漬立てて、冬に食べる「凍葉」とも呼ぶ。

開花前 花期 3月~4月 花後の葉 冬芽

**シロヤナギ (ヤナギ科)**  
学名 *Salix dolichostylia* Seemen subsp. *dolichostylia* (Salicaceae)

北海道、本州の東北地方および北陸地方、関東地方北部に分布する。海外ではヨーロッパ、アジア、北アメリカに広く分布している。特に川沿いや湿地など、水が多い場所によく見られる高さ20~30mになる落葉常緑木。雌雄異株。若い木の樹皮は滑らかで緑色で、成長になると灰色で深い縦裂の割れ目が入る。葉は革質で、長さ5~10cmの長楕円状卵形から長楕円状で先は尖り、縁には波状の鋸歯がある。裏面は濃緑色。葉裏は粉白色鱗は縮れなく、葉が乾くと、裏面は緑色で裏面は粉白色色をしている。春に雄花は黄色い筒が直立つた花序をつけ、雌花は黄色い筒が直立つた花序を持つ。雄花は花序をつける。受粉後、筒の付いた種子を落とす。和名「白柳(シロヤナギ)」は、葉の裏面が白く輝く種子から、この名前が付けられた。

花期 4月

**ヤマブキソウ (ケシ科)**  
学名 *Hylomecon japonica* (Tunoda, Prantl et Kuhnigk) (Papaveraceae)

本州、四国、九州に分布する。国外では中国に分布する。山野の下に生える多年草。茎葉は黄色い汁を分泌し、葉は厚く、長さ30~40cm。ヤマブキ草が花の太さに似て、茎は花の葉の葉、根出葉は多数卵状楕円形で長い葉柄がある。花冠は黄色で、縁は切れ込みと細かい縞目がある。香、葉裏に鮮やかな黄色い花蜜を分泌する。葉色の葉片は2倍あり、花冠筒に落ちる。雄しべは多数。雄しべは1本。雌蕊は直立し、長さ5cm程。葉の裏面に有毒の乳汁がある。呼吸器麻痺などの症状が現れる。和名「山吹草(ヤマブキソウ)」は、別名クサヤブとも書かれているように、花がクサヤブ科のヤマブキ草に似ていることが名前の由来。

花期 5月上旬~中旬